

The 14th Symposium on Roles of Metals in Biological Reactions, Biology and Medicine

第14回 金属の関与する生体関連反応シンポジウム SRM 2004 Shizuoka

お 礼

参加登録者各位へ

前略、この度は第14回金属の関与する生体関連反応シンポジウムに参加登録いただきまして有り難うございました。お蔭様でレベルの高い、収穫の多い学術集会を開催することが出来ました。ご協力有り難うございました。衷心よりお礼申し上げます。

第14回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（日本薬学会主催）
実行委員長 荒川 泰昭（静岡県立大学教授）



Welcome Message

Yasuaki ARAKAWA

Chairman, the Organizing Committee
(Professor, The University of Shizuoka)

It is a great pleasure for me to open the 14th Symposium on Roles of Metals in Biological Reaction, Biology and Medicine '04 (SRM2004) at Shizuoka and to welcome all of you to this symposium. This symposium is an interdisciplinary scientific meeting dealing with the relation between metals and organism, including the fields of an interaction between metals and organism, biological activity and function of metals, structure and property of metal and metal-complexes, analysis of metals, design of functional metal molecule and metal drug, etc.

This symposium is designed to integrate the recent advances made by the various biological, medical, chemical, analytical, environmental and nutritional disciplines in the rapidly expanding field of metals. By bringing together investigators ranging in their interests from

chemistry to medicine, we have attempted to present a fairly comprehensive coverage. Particularly in this symposium, we are going to focus our attention on the four main theme; 1) Isogenies of Drugs and Food, and Metals, 2) Essentiality and Toxicity of Metals, 3) Metal Complexes and Organism, 4) Metal Allergy.

Research on metals is entering a period of mushrooming growth. Therefore, it is highly desirable that interested scientists gather to report new advances, to review processes, to discuss conflicting findings and divergent interpretations regarding metals, and to make more meaningful plans for the future phases and directions of research.

We hope that your participation in this meeting will be rewarding to you and that sharing ideas with colleagues will help deepen understanding and friendship.

Shizuoka is located in the central part of the main island of Japan. The surrounding area provides excellent opportunities for participants to enjoy visits to scenic and interesting spots such as Mt. Fuji or the hot springs of the Izu Peninsula. I wish all participants of the 14th SRM a pleasant stay in Shizuoka and an enriching experience, both personal and professional.

Finally, I wish to express my appreciation to the members of the council who assisted in making this symposium, to the moderators, speakers, and other participants, and to the dedicated staffs of the Secretariat for their valuable contributions. I would like to thank many companies for the financial support and cooperation we received in organizing and conducting this symposium.

第 14 回金属の関与する生体関連反応シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。本シンポジウムは保健、医療、製薬、化学、食品、環境、分析などの各分野において、「疾病予防」「健康の保持・増進」のための「健康阻害要因の検索、分析、認知、作用機序解析、毒性評価、対策」や「生体機能の保持・増進」、さらに疾病における「診断、治療」などの見地から「金属」あるいは「金属錯体」を扱っている研究者の学際的な学術集会です。とくに本大会では1)「薬食同源と金属」、2)「金属の有用性と安全性」、3)「金属錯体と生体」、4)「金属アレルギー」を主要テーマとして、健康維持増進のための「保健機能食品」ならびに疾病の予防・治療のための「医薬品」など、「食薬融合領域」における金属の役割や有用性およびその安全性にフォーカスを当てると一方で、「金属蛍光プローブの開発」、「金属治療薬の開発」、「機能性金属分子の設計」、「生体における金属の新規機能性」、「生体機能(免疫、脳神経、内分泌)と金属」、「金属と細胞死(アポトーシス/ネクロシス)」、「生態系における有機金属の生物活性」など、金属ならびに金属錯体の新規機能性の開発とその有用性ならびに安全性にもフォーカスを当てております。上記領域に興味を持ち、また志向しておられる方々の多数の演題のご応募とご参加をお待ち申し上げます。

会期:平成16年6月10日(木)
6月11日(金)

会場:グランシップ Gran Ship (Shizuoka Convention & Art Center)
(JR 東静岡駅前)

中ホール・大地(1, 2, 3階)、展示ギャラリー1(6F)、会議室1001-1(10階)
静岡市池田79-4(〒422-8005) TEL: (054)203-5713 FAX: (054)203-6710

会場へのアクセス:

電車:新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。静岡駅下車。
東海道本線(上り)へ乗換えて1駅目(3分)。東静岡駅下車。
車:東名高速静岡 I.C から20分。静清バイパス千代田上土 I.C から10分。

主催:日本薬学会

共催:日本微量元素学会、日本化学会、日本分析化学会、日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本免疫毒性学会、21世紀COEプログラム推進拠点、(財)日本健康・栄養食品協会

主要テーマ:

「薬食同源と金属」
「金属の有用性と安全性」
「金属錯体と生体」
「金属アレルギー」

講演形態:

特別演題と募集演題

特別演題:

特別講演1:「薬食同源と金属」 糸川嘉則(京大医・名誉教授・衛生学)

特別講演2:「金属の有用性と毒性—基本的及び実践的考察—」 和田攻(東大医・名誉教授・衛生学)

特別講演3:「生体亜鉛イオンによる分子認識機構とその応用」 木村栄一(日本薬学会・前会頭)

トピック:「金属と皮膚—金属接触アレルギーと全身型金属アレルギー」 足立厚子(兵庫県立加古川病院・皮膚科部長)

募集演題:

講演(口演発表)とポスター展示発表

募集演題セッション内容:

1. 金属蛍光プローブ・金属プローブの開発
2. 金属治療薬の開発
3. 機能性金属分子の設計
4. 生体における金属の新規機能性
5. 金属と細胞死(アポトーシス/ネクロシス)
6. 生体機能(免疫、脳神経、内分泌)と金属
7. 生態系における有機金属の生物活性
8. 金属錯体の構造と特性
9. 金属分析
10. その他、食品、環境と金属など

発表形式:

口演発表:液晶プロジェクター(パソコン(PowerPoint)、OHC)
ポスター展示発表:展示ギャラリー、展示パネル(横 90cm x 縦 240cm)

* 講演時間:特別講演(40分)
講演(口演発表)(口演 15分、討論 5分、計 20分)

* **ポスターセッション:**十分なディスカッションが出来るポスター展示発表に多くの学生の方々の参加を希望いたします。

演題・抄録原稿登録方法:

オンライン

[登録画面\(暗号通信\)](#)

[登録画面\(平文通信\)](#)

[確認・修正画面\(暗号通信\)](#)

[確認・修正画面\(平文通信\)](#)

暗号・平文通信どちらも内容に変わりはありませんが、特に問題がない場合は、暗号通信の方をご利用ください。

本抄録集は日本薬学会のジャーナル「YAKUGAKU ZASSHI 薬学雑誌」の増刊号としてナンバーリングされますので、奮ってご登録下さい。

演題・抄録原稿は UMIN の演題登録システムに従って、英文で作成し、登録願います。

* 不都合な場合は事務局までご連絡下さい。

演題・抄録原稿登録締切日:

演題・抄録原稿登録開始日: 平成16年2月18日(水)

演題・抄録原稿登録締切日: 平成16年3月31日(水)

事前登録参加申込み:

事前登録参加申込み締切日: **平成16年4月30日(土)**

* 事前登録参加申込みは参加費および懇親会費の送金をもって代替いたします。
その際、氏名、所属、所属先(連絡先)住所、抄録集郵送希望などを明記願います。

参加費:

一般:事前登録 5000円(当日 6000円)

学生:事前登録 3000円(当日 4000円)

* 講演要旨集の事前郵送をご希望の方は通信欄に明記の上、500円を加算して下さい。

懇親会費:

一般:事前登録 6000円(当日 7000円)

学生:事前登録 2000円(当日 3000円)

参加登録費用振込先:

郵便振替口座

口座番号:00160-2-425231

口座名称:第14回金属の関与する生体関連反応シンポジウム

評議員会:

日時:6月10日(木)12:00~13:00

会場:グランシップ Gran Ship(Shizuoka Convention & Art Center)
(JR 東静岡駅前) 会議室1001-1(10階)

懇親会:

日時:6月10日(木)18:30~20:30

会場:ホテルアソシア静岡ターミナル 3階 駿府の間(JR 静岡駅前)
TEL:054-254-4141(代)



お問い合わせ:

第14回金属の関与する生体関連反応シンポジウム事務局

静岡市谷田 52-1 (〒422-8526)

[静岡県立大学・公衆衛生学・生体衛生学研究室内](#)

実行委員長 荒川 泰昭

TEL&FAX: 054-264-5563

E-mail: arakawa@u-shizuoka-ken.ac.jp

学術大会専用ホームページ URL: <http://srm2004.umin.ne.jp>

学術大会専用 E-mail: srm2004-office@umin.ac.jp

最終更新日 2004 年 6 月 14 日

Copyright(c) 2003-2004 by Yasuaki Arakawa. All rights reserved.